

令和8年度 希望ヶ丘高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

日時

令和8年6月26日（金）15：30～16：45 応接室

場所

希望ヶ丘高等学校

出席者

委員および教職員（校長、副校長、教頭、総括教員ほか）

議事内容

1. 開会・委嘱

定刻に開会し、学校運営協議会委員への委嘱状交付が行われた。

2. 会長選出

昨年度に引き続き、松本委員が会長に選出された。

3. 校長挨拶（要旨）

学校運営協議会の趣旨として、学校・保護者・地域が連携しながら学校づくりを進めることの重要性が示された。

また、今年度の主な課題として、①生徒確保、②SSHの評価改善、③定時制の役割維持が挙げられた。

特にSSHについては中間評価が厳しい結果であったため、今後の立て直しが重要であるとの説明があった。

4. 学校目標および各分掌からの説明

4-1 全日制の取り組み

(1) 教務グループ

- ・学力向上を重点目標とし、カリキュラム改善を実施
- ・1年次で理科基礎科目を充実させ、2年次で理系希望者が発展へ学習できるように改善
- ・理系進路を促進する構造へ転換

(2) 生徒支援グループ

- ・ 生徒主体による行事運営の強化
- ・ 教育相談体制の整備（複数人員体制）

(3) 研究開発グループ

- ・ 中間評価は6段階中下位と厳しい結果
- ・ 課題：報告書の質、外部連携不足、発信力不足
- ・ 改善策：外部メンターの活用、HP公開、発表機会増加

(4) キャリア支援グループ

- ・ 模擬試験を増加し全学年同時実施
- ・ 教員研修を通じて指導力向上
- ・ 国公立大学進学促進（地方含む）

(5) 広報グループ

- ・ 学校説明会や地域活動の充実
- ・ 中学生のミスマッチ防止に重点

(6) 総務グループ

- ・ 同窓会加入率の改善
- ・ OB・OGの活用の検討

4-2 定時制の取り組み

(1) 学習支援グループ

- ・ 学び直しを重視した授業実施
- ・ ICTを活用した個別最適学習

(2) 生徒支援グループ

- ・ 不登校や特性のある生徒への個別支援
- ・ 教職員間の情報共有の強化

(3) 校務運営グループ

- ・ 就職7割・進学3割の状況
- ・ 未決定のまま卒業する生徒の減少が課題
- ・ 外部機関との連携、インターンシップ導入

5. 質疑・意見

(主な論点)

- ・卒業後のフォロー体制の必要性
- ・地域との協働の推進（商店会との連携）
- ・ボランティア証明書の活用可能性
- ・SSHにおける地域課題の活用
- ・保護者や地域人材のメンター活用

また、探究学習について、生徒主体性と外部課題提示のバランスが重要であるとの指摘があった。

6. 委員からの主な意見

- ・学校の取組は全体として評価できる
- ・PTAとしても協力可能な点があれば連携したい
- ・地域としても連携の機会拡大を希望

7. 今後の予定

第2回協議会：令和8年11月

第3回協議会：令和9年3月

授業見学の機会を設定予定

8. 閉会

会議は予定どおり終了した。